

青雲の翼

発行者
鹿児島県立
鹿児島水産
高等学校
庶務係

元気ハツラツ！！ 1年生, 練習の成果で大合唱！！



←青雲寮生が薩摩青雲丸に向かい、胸を張って「校歌」を大合唱！！

「おいらの船は三百トン」・
「水産放浪歌」を独特な手拍子
で斉唱→



堂々たる姿に感激 来賓・参加者から賞賛の声

堂々と！

5月9日(金)平成26

6年度薩摩青雲丸第一次航海出港式が枕崎港で行われました。参加者は本校本科生、専攻科生全員が参加し、関係保護者、枕崎市長、県教育委員会、PTA会長、同窓会会長が参加してくださいました。

この出港式で、青雲寮生は「校歌」、「おいらの船は三百トン」、「水産放浪歌」を大声で歌い、出港する生徒を見送ると、また、そのために約2週間前から毎晩1時間程度「歌練」を行うことが伝統となつています。大声を出すことに慣れていない、または人前で歌うことの恥ずかしさで思うように声を出せないこともあります。しかし、その逆境を撥ね除け、今年も大声で歌う青雲寮生の姿が多く参加者を感動させていました。寮生もこの出港式を乗り越えて大きく成長したと思います。

寮長

三年海洋科栽培工学コース
内野 翔太

今年、寮長になった内野翔太です。1年間よろしくお願ひします。一年生は入寮してから約一か月が経ち、だいぶ寮の生活にも慣れてきたと思います。これから楽しい行事もたくさんあります。その反面、きついことや厳しいことでもあります。時には皆さんに対して厳しいことも言いませう。でも、寮には皆さんの仲間がいます。みんなで困難を乗り越えてください。寮生でしか味わえない体験や感動が待っています！寮生のみならず！元気ハツラツで頑張ってくださいませよう！



舎監長より

保護者の皆様におかれましては、かねてより本校寮運営に御理解と御協力を頂き、深く感謝申し上げます。

一年生は、親元を離れ初めての寮生活ということで、期待や不安を抱えながらの毎日だったと思います。

四月、薩摩青雲丸第一次航海出港式に向けた歌練習はきつかったと思いますが、しかし、出港式当日は、練習の成果もあり盛大に先輩方を送り出すことができました。帰省した際には、色々な苦労話を聞いたことでしよう。徐々に学校生活や寮生活にも慣れ、落ち着いた日々を送ることができています。

今後も校長をはじめ、舎監・寮監一同、生徒達の心身の成長と学びを助長できるような環境作りに努めていきたいと考えております。何かありましたら、遠慮無くご意見やご要望等を賜りますようお願い申し上げます。